



## 魚の溢れる川へ・・・

### 天竜川上流直轄砂防70周年



小渋川  
大林建材さん付近の魚道



漁業組合大鹿支部長  
今井 償 さん

標高三千メートル級の赤石岳・荒川岳より  
発する小渋川、途中より  
青木川・鹿塩川・塩川を合流し、  
北に中川村、南に松川町の小渋ダム湖へと、  
飽き足らず先行して松川町生田発電所へ、  
落合より隧道にて天竜川へと  
何れも雄大な流れの出来事。昭和三十六年六月の  
この雄大な流れの出来事。昭和三十六年六月の  
梅雨前線集中豪雨があり、昭和三十六年六月の  
村が潰滅的豪雨があり、昭和三十六年六月の  
被災後の国土交通省の復旧工事、犠牲者が出ました。  
あはゆる防災事業の復旧工事、犠牲者が出ました。  
地域住民の防災事業の復旧工事、犠牲者が出ました。  
合流点付近にてまた小渋川上流、青木川との  
鮎の釣りが可能でありました。  
昨年は、鮎三十kgを鹿塩川へ放流、  
毎年、事業でありますが、アマゴの稚魚  
五万匹を放流しております。  
カシコが、アマガゴ、岩魚、諸々の魚族が  
小渋湖より、小渋川上流に群れを成して遡上するも  
夢で、現実に成りつつあります。  
国土交通省直轄砂防七十周年治水事業に  
御祝い申し上げます。耐えられない次第であります。

砂防事業開始70周年によせて

漁業組合大鹿支部長 今井 償

## 冷え込みが厳しくなってきました！

### 連日の-10℃を超える冷え込み



堤防法面でソリ遊びをする子供達



1月21日・22日に雪が降りました。  
積雪は20cm前後でしたが、皆さん雪かきに  
苦勞された事と思います。  
その後、25日あたりから、急激に冷え込みが厳しくなり、  
現場の温度計も-16℃を記録しました。  
仮設トイレや手洗いが凍ってしまい、大変困りました。  
村内のお宅でも、水道や洗濯機が凍結してしまったお宅があり  
皆さん大変な思いをされたとおもいます。  
路面の凍結も多くなりましたので  
車の運転には充分ご注意ください。

### 平成19年度 天竜川水系 大河原床固工群 青木地区工事

工期 平成19年9月21日～平成20年3月28日

施工 有限会社 宮澤組



1月の現場状況

現在、青木川の小渋川合流点より  
200mほど上流の護岸工事を行っています。  
床固工の水叩工では、七釜から運んだ  
自然巨石を使った斜路工を予定しています。  
工事中は地域住民の皆様にご迷惑を  
おかけします。皆様のご理解とご協力を  
よろしくお願いいたします。  
工事に関して御気付きの点がございましたら  
お気軽にお声をかけてください。



現場代理人  
牧島 祐介

現場事務所 TEL0265-39-1066  
本社 TEL0265-36-2314